

《どうでもいい話、その 539》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

食料品などの買い物は、アッシー（ちょっと古い言葉かな）で近くのスーパーへ行きます。付近のスーパーは、トーホーストア、コープ、マルハチの3軒があり、一番安いマルハチによく行きます。それにしてもスーパーは、どこでも非人間的で、店内は実に静かな空間です。聞こえる音は、食料品、飲み物売り場の冷凍機、冷蔵機のウーン、ゴーンという機械音、それに低音のBGMとレジで商品のバーコードを読むピッ、ポッという音だけです。どんなに大勢の女性がひしめいていても、このときばかりは、どういう訳か彼女たちは実に静かに黙々と買い物に精を出しているのです。普段、道ばたで知り合いの女の人に出会うと、延々と周囲を気にせず話すのに、スーパーで知った人に出会っても店内ではしゃべらず、暑い時でもエアコンのきいてない外に出てしゃべっています。子供たちも店内では、騒いだり大声を出したりするのを、あまり見たことがありません。このスーパーにおける人間の行動変化は、どうしてなのでしょう？ 店内のどこかにスーパーマンがいて監視し、コントロールしているのかなー？

岩波より